

ゼミ活動報告 「CORE 論文 2015 表彰式&発表会」

西 孝史

先日、10月8日にCORE論文の表彰式と発表会がありました。今回、私たち宮川研究室の中で、小林製菓企業分析班による「ファミリー企業の利益配分に関する実証研究」の論文が優秀賞に選ばれました。僕自身の率直な感想としては、学術的な論文で賞を獲るなんて今まで思ってもみなかったもので、とても嬉しいです。ただ、なしこは「最優秀賞が獲れなくて悔しかった。」と、何ともなしこらしい感想を言ってました。

さて、表彰式と発表会ですが、1回生の必修講義である経済学の講義内で行われました。まずは表彰式なんですが、厳選なるあみだくじをチーム内で行った結果、表彰状を受け取る担当となった細見君。非常に羨ましかったです(笑)



そして、論文発表はなしこと橋詰とわたくし西が担当しました。今回は経済学の講義中での発表だったので、とにかく1回生にも分かってもらえるように分かりやすく発表することを意識しました。ファミリー企業ってどんな特徴がある企業のことを言うのか。企業の現金保有と経営者の持株の関係を見て何を証明したかったのか。1回生のみんなに伝わっていたら嬉しいです。

こうして、ゼミに没頭して作り上げた論文が優秀賞という結果として評価されたことがとても嬉しかったです。この結果は僕の一生モノの誇りですね。何よりも毎日夜遅くまでラーニングコモンズルーム(通称:ラーコモ)に残って議論を重ねたチームのメ



ンバーや、常に親身になって指導していただいた宮川先生、いつもライバルのように張り合いながらもお互いに切磋琢磨した日ハムチームのみんなにはとても感謝しています。



本稿は大阪市立大学商学部宮川研究室ゼミ生の活動報告を目的として本学学生が作成したものです。本稿に掲載される個人名や企業名はご本人のご協力を得て掲載許可をいただいています。ただし、内容については執筆者の主観的感想や主張が入っており、事実とは異なる場合があります。本稿の目的以外にご使用にならないようお願いいたします。